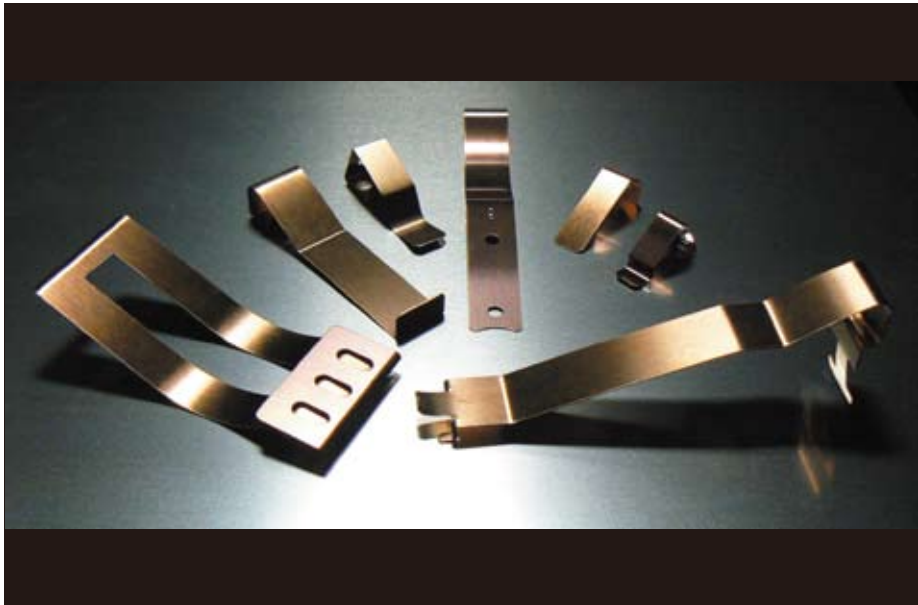


海外発注可 納期相談 企画力自信有 コスト相談 オンライン技術 試作可小ロット 量産対応



さまざまな用途に使われる『板ばね』

昭和スプリング株式会社

薄板スプリングや 金属プレス部品 ものづくりの設計・開発型企業

難加工の依頼ほど「やってみたら！」の精神がくすぐられる

板ばね（ステンレスばね材）、金属プレス部品（特殊鋼等金属金型）の設計・製作を中心とした設計・開発型企業、それが昭和スプリングだ。

必要とされるニーズや開発の要望を初期段階から相談を受け、ものづくりの視点から、アイデア・発想を、部材加工と材料の両面から、試作・材質・形状・量産を見据えた製造工法を提案する。必要であればアッセンブリを見据えた試作設計・製作もこなす。「難しい相談が持ち込まれ、それが難加工であればあるほど、積極性が増すんですね。やってみたら！と思ってしまう」と北村社長。営業畑から転職したとは思えない職人気質な発言は、先代の職人DNAをしっかりと受け継いでいるようだ。

うちでしか作れない
そんな製品を作りだす

ステンレスの「板ばね」製造加工を主軸とする同社。ばねを作っている企業は多いが、板ばねを主流にしている企業は少ない。そんな板ばねのノウハウに「アイデア」というエッセンスを付加し製作される商品の中で、特筆するべき商品がある。

自動車エンジンからの駆動力をタイヤに伝える等速ジョイントのゴムブーツに使用される「ワンタッチ装着型ブーツバンド」は、ばね機能は付帯しないが、同社が保有するノウハウをもとに製造設計依頼を受けた。一度付けると外れないという特徴があるこのバンドは、製品化するまでに2



職人の手技が、製品一つひとつに命を吹き込む

年の共同開発期間を要した。この他、さまざまな精度を求められるのが、照明器具の部品製造だ。ランプホルダー・支柱・Vばね・枠等は、温度変化や結露、使用頻度の高さ等、過酷な環境で使用されるため、求められる精度の維持はもちろん、使用目的にあった素材や加工の提案にも力を抜かない。

ものづくりネットワークで
横繋がり職人技を継承

「大阪のものづくり企業には多くの知恵・ノウハウが詰まっている。技術はあるのに宣伝ができない。それを見ていると、ほんまにもったいない！と思う」と北村社長。実際の注文のレベルと、持っている技術が比例していないことが多く、本当に必要とされている技術と需要のマッチングの必要性を感じているようだ。

一貫生産と中小企業のネットワークを駆使したものづくりを実践する同社が、今後コーディネーター的役割を担い、「楽しい」と仕事じゃない」を合言葉に、大阪のものづくりを盛り上げていくことだろう。

Company Profile

昭和スプリング株式会社

ISO 14001 ISO 9001 大阪22

住所 〒584-0023 富田林市若松町東1-8-30

TEL 0721-20-3333

FAX 0721-20-3331

設立 昭和47年4月15日

資本金 2,000万円

従業員 48名

代表取締役 北村 勝博

■主な事業内容

薄板ばねを主としたプレス製品の企画・製造・販売

■主な取引先

大手自動車メーカー、自動車部品メーカー、家電メーカー等

<http://www.showasp.jp>

他社には
負けない

当社のもので
セールスポイント

困ったときの「昭和スプリング」
そうあり続けたい!

代表取締役 北村 勝博 さん



これまで、自動車部品、建築金物部品、照明器具部品等のアイデア部品を提案してきました。これからは、他業界を含め、積極的に各企業様の課題解決、およびご提案を推進していき、困ったときの「昭和スプリング」であり続けたいと思います。